学校番号	105

令和３年度　音楽

教科	音楽	科目	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ（専門ｺｰｽ）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	標準版コールユーブンゲン（全音楽譜出版社）						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「視唱」「視奏」「聴音」の３つの内容を年間通して学習し、音楽を形づくっている要素を正しくとらえる力を身につけます。
・音楽を感覚的にとらえるだけにとどまらず、音楽を形づくっている要素を、音を出し、音を聴くことで体感します。
・この授業で学習する内容は、「（学）楽典演習」の授業と相互に関連しています。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技試験で評価します。なお、a:「関心・意欲・態度」b:「創意工夫」c:「技能」d:「鑑賞の能力」の４観点で評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、他者の演奏について言葉によって言い表すことができる。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート 演奏聴取（実技試験）	演奏の聴取 課題提出 演奏聴取（実技試験）	観察 ワークシート 他者の観察記録（実技試験）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	視唱・視奏	【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.37～No.61 【視奏】 リズム視奏	○	○	○	○	a:基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b:楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c:楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録
	旋律聴音	【聴音】 旋律聴音(8 小節) 和声聴音 ※必要に応じて到達度別課題を設定する	○	○	○		a:旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 c:旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート
	表現の実際	【歌唱】 イタリア歌曲 日本歌曲	○	○	○	○	a:音楽を形づくっている基礎的な内容について理解し、興味・関心をもっている。 b:音楽を形づくっている要素の働きを生かし、表現の工夫に結び付けている。 c:音楽を形づくっている要素を生かして表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、表現の工夫などを言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録
2学期	視唱・視奏	【視唱】 「コールユーブンゲン」 No.62～No.77 付録　合唱基本練習 【視奏】 リズム視奏(複リズム)	○	○	○	○	a:基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b:楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c:楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	聴音	【聴音】 【聴音】 旋律聴音(8 小節) 和声聴音 ※必要に応じて到達度別課題を設定する	○	○	○		a:旋律を形づくっている要素（リズム・音高の変化）の働きに興味・関心をもっている。 b:旋律を形づくっている要素を基に、楽譜として表現する工夫をしている。 c:旋律を形づくっている要素を生かして、楽譜として表現するための技能をもっている。	観察 ワークシート

2学期(続き)	表現の実際	【歌唱】 ドイツ歌曲 日本歌曲	○	○	○	○	a:音楽を形づくっている基礎的な内容について理解し、興味・関心をもっている。 b:音楽を形づくっている要素の働きを生かし、表現の工夫に結び付けている。 c:音楽を形づくっている要素を生かして表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、表現の工夫なども含めて言葉で指摘できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録
3学期	視唱・視奏	総合的な音楽の理解	○	○	○	○	a:基本的な歌唱法・記譜法を理解し、興味・関心をもっている。 b:楽譜から音高・リズムをイメージして、表現を工夫している。 c:楽譜から得た音高・リズムのイメージを基に、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:他者の演奏に対し、音楽の要素に分けて正しく聴き、表現の工夫なども含めて言葉で表現できる。	観察 ワークシート 演奏の聴取 他者の観察記録

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a,b,c の３観点で、「鑑賞」の分野は a,d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。